



の がき 野垣あきこまちづくりカフェ

子ども・くらし・平和



2025年4月2日 No.216

連絡先 090-9293-8710 ご相談どうぞ!

対立から対話のまちづくりへ

西武新宿線の地下化とまちづくり ～下北沢から学ぶ～



下平憲治さん(左)

プロフィール 1962年長野県生、高校時代に下北沢ロフトに出演していた山下達郎に憧れ下北沢に住むことを決意し45年、歯列矯正専門医、下北沢でバーを経営、下北沢東通り商店街副会長、SaveThe下北沢の代表

3月30日、野垣あきこサポーターズS・Iの主催で「西武新宿線の地下化とまちづくり～下北沢から学ぶ～」をテーマに学習会を開催し、杉並・中野の沿線住民など28名が参加しました。

小田急線地下化と下北沢のまちづくりの状況を聞く

始めに、下井草で西武新宿線の地下化を求める活動をしているメンバーから、これまでの運動の経過や区間ごとの連続立体交差化の状況を報告しました。

講師には、下北沢で運動やまちづくりを盛り上げてきた下平憲治さんをお呼びしました。

商店街を壊して道路建設?

下北沢の住民たちは開かずの踏切に悩んでいましたが、2003年に東京都が小田急線の地下化を決定しました。しかし、

それは地上に幅26mの都市計画道路をつくるためだったのです。

下平さんたちは、商店街や下北沢のごちゃごちゃ感を守りたいと道路計画反対の運動を4人でスタート。ミュージシャンや著名人に賛同を呼びかけ、SNSも駆使して活動を展開しました。

下北沢の再開発が争点となった2015年の世田谷区長選では、見直しを表明した保坂区長が再選したこと、行政訴訟があったことなども語られました。

その後、住民と都は話し合いの末に和解。都は一旦、道路建設計画を見送ることに決めました。歩いて楽しめるまちが、車が通ることによって壊されてしまうともみなが危惧していたそうです。

線路跡地の検討が始まる

そして、2013年に小田急線の3駅（東北沢、下北沢、世田谷代田）の地下化が完了しました。

1.7キロの線路跡地の活用を考える「北沢PR戦略会議」が住

個人商店や個性のあるまち

民と小田急も加わり開かれました。それぞれの声を尊重し、下北沢の文化が生かされるよう、200回以上議論を重ねてアイデアを出していったそうです。



下北線路街「ボーナストラック」

都内の好立地ですが、大きいビルではなく、「人々がそこに行ってみたい」と思える個人商店の入る長屋（写真）や、スペースを作りイベントを開催するなど、下北沢はさらに注目されるまちに発展していきそうです。

専門家は、対立から対話へとこのプロセスの中で、積極的な市民の活動を鉄道会社の小田急が支援するという支援型開発で、価値の上がるまちづくりが行われた、と下北沢を評価しているそうです。

【裏面へ続く】

まちづくりはワクワク感が大事！

下井草の魅力を活かしたまちづくりのためにも地下化が必要



あいさつする原田都議

会場からはたくさんの方の質問や感想が寄せられました

会場からは、世田谷区の意向や鉄道事業者との関わりなど、質問や感想がたくさん出されました。野方や鷺ノ宮で地下化を求める活動をしているメンバーからは、中野区が高架化前提でまちづくりをしようとしている動きがあるとの意見も出されました。

岸本区政のまちづくりに期待

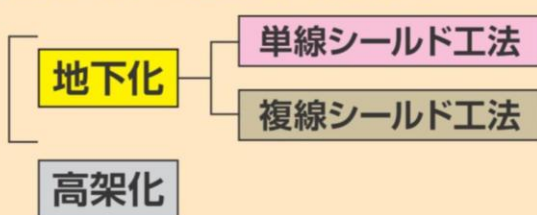
下平さんは、行政との関わりについて、「首長が変わっても（方針が）すぐ変わるわけではないが、勝たないと何も始まらない。杉並の岸本区長に期待している」と話しました。最後に「まちづくりはワクワク感が大事」「下井草は下北沢にはない魅力があるは

原田都議があいさつし激励

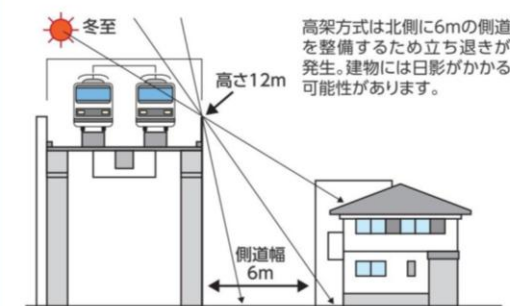
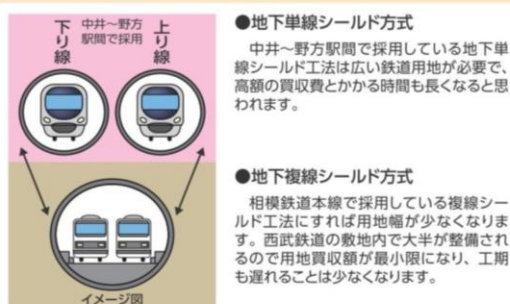
原田あきら都議は、昨年の都議会でも「西武新宿線の複線シールド工法（左図参照）の検討を求める陳情」が趣旨採択されたことや、技術者からも「なぜ複線シールドにしないのか」との声があることを紹介し、地下化を求める住民の活動を激励。

6月の都議選では、西武新宿線の連続立体交差化が争点になります。地下化の住民の声を届けるためにも、都議選で頑張りますと決意表明をしました。

鉄道の連続立体交差化には主に以下の工法があります



●シールド方式による違い



下北沢のまちづくりの運動の経験は、下井草でもヒントになることがあると感じました。引き続き、学習会や街宣などでもうったえていきます。

参加者からの声(一部要約)

- ・地下化とまちづくりは長いたたかいだと思う。どう変わるのかが大事。
- ・若い頃に下北沢に住んでいました。仕事で疲れて帰ってきて、商店街やたくさんの個人商店に癒されていました。
- ・下北沢のお話に、こういう地道に豊かなプランを掲げた市民運動があるんだと敬意を感じました。原田都議からの、複線シールドしかないとの関係者はみんな思っているとのお話も、説得力があったと思います。
- ・下北沢は10年もかかり、素敵な雨庭広場など素晴らしい街になっているんですね。今度、芝居を見に下北沢に行くので、雨庭広場だけでも見て来ようと思います。若い方を巻き込み、下井草の宣伝の時もどんどん伝えて行かないと間に合いませんね。

野垣あきこ地域後援会行事

桜並木の国立ハンセン病資料館へ

4/15(火)

9時半 下井草駅改札集合 久米川駅へ

10時半 資料館見学 桜を見ながら昼食

13時半頃 現地解散

持ち物 弁当、水筒、敷物、交通費

